

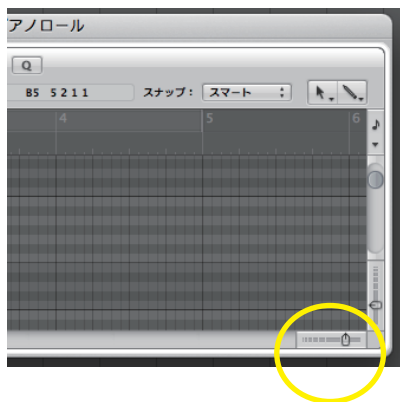
## ■【解説】〈ピアノロール画面〉の〈ます目〉について

～「Logicの〈4分音符単位のます目〉と「Logicの〈16分音符単位のます目〉」のこと

1. ピアノロール画面上部にみられる数字は「小節番号」をしめします。

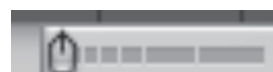
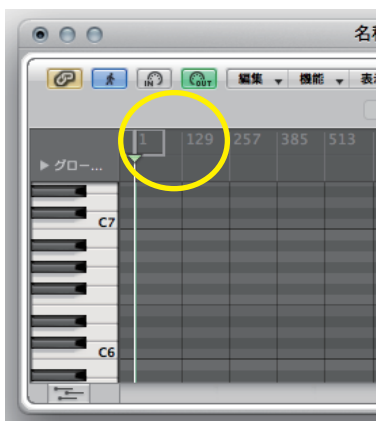


2. ピアノロール画面の右下のスライダーで横方向の拡大縮小ができます。

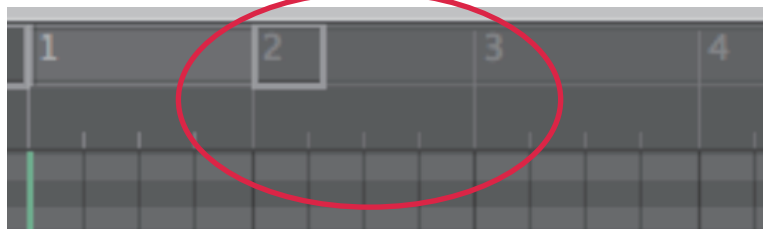


3. ピアノロール画面内に見られる〈ます目〉について解説します。

そのため、まず最初にスライダーを左いっぱいにはセットして、ピアノロール画面の横軸を最も縮小させてみます。すると、「1小節目」の次が「129小節目」である程に大雑把に表示されます。



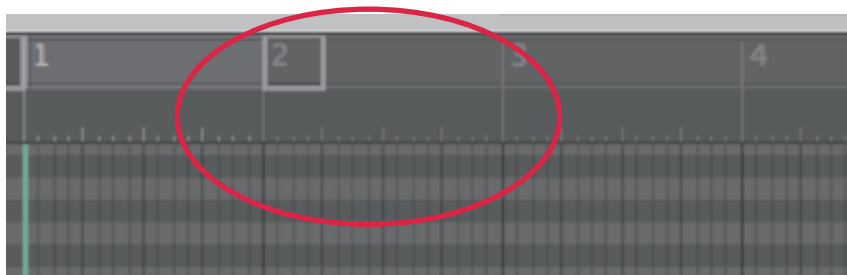
4. 少しずつスライダーを右へ移動させて画面の横軸拡大させます。スライダーの位置が真ん中を少し過ぎた位置になると、小節番号が 1,2,3,4 のように見えてきます。その時、小節の中は「4つのます目」で区切られている形で表示されます。〈4分の4拍子〉の時に Logic の〈ます目が1小節内を4等分〉していることから、この〈ます目一個分の長さ〉は〈四分音符の長さ〉に相当します。ここでは、このような精度の小節の分割を「Logic の〈4分音符単位のます目〉」と呼ぶことにします。



← 図4「Logic の〈4分音符単位のます目〉」。  
(4/4拍子の曲で、1小節内が4等分されている)



5. 【重要】さらにここで、もう少しだけスライダーを右にずらすと、〈4分音符単位のます目〉の内部が、〈さらに小さな4つのます目〉に区切られた状態になります。この、小さなます目は、4分音符を4等分した長さを表しています。なので、ここでは、「Logic の〈16分音符単位のます目〉」と呼ぶことにします。



← 図5「Logic の〈16分音符単位のます目〉」。  
(4/4拍子の曲で、1小節内が大きく4等分されているが、さらにその中が4等分されている)



6. このあと、さらに横軸スライダーを右へ移動させると、横軸はさらに拡大はされますが、しかし、先の〈16分音符単位のます目〉は、これ以上、さらに細かい〈ます目〉に分割されることはありません。その意味で、先の〈16分音符単位のます目〉とは、Logic での〈最小単位のます目〉とも言えます。

7. ちなみに、図5の状態からさらに横軸スライダーを右に動かすと、小節番号の数字があらたな表示で現れてきます。たとえば、「1.3」とか、「2.3」とか。これは、それぞれ「第1小節の3拍目」、「第2小節の3拍目」を表す数字です。そして、そこからさらに拡大させると、下の図6のように、「1」「1.2」「1.3」「1.4」「2」「2.2」のように表示されます。ここでの、それぞれの数字の意味合いは、「1」とは「第1小節の1拍目」、「1.2」とは「第1小節の2拍目」です。「2」は「第2小節の1拍目」であり、「2.2」は「第2小節の2拍目」という意味です。また、いうまでもなく、ここで見られる〈ます目〉とは、4/4拍子の曲での1拍を4等分していることから、「Logic の〈16分音符単位のます目〉」です。

図6

